

青少年指導員の活動にクローズアップ!!

各地域で再開されたお祭りの特集記事をお届けします。

■ 緑区民まつりに出店

緑区青少年指導員連絡協議会 会長 野中 文子

コロナ禍を経て3年ぶりの開催となった「緑区民まつり2022(10月16日)」にて、緑区青少年指導員連絡協議会では「ペットボトルボーリング」を出店しました。延べ1,292名の方がゲームを体験し、想定以上に大盛況でした。



■ 4年ぶり!あさお区民まつり

麻生区青少年指導員会 土屋 久子

ふれあいコーナーと題して新聞紙で作るエコバッグと缶バッジ作り、参加者が数字になる「人間ビンゴ」をやりました。まつりを通じ指導員と地域の皆さんとの交流を深めていけたと思います。来年も楽しくやりたいです!



■ 青天の下で!

逗子市青少年指導員連絡協議会 会長 福本 秀子

三年ぶりの逗子市民まつりは、米軍基地前の陸上競技場で開催され、基地の方々への対応として、英語表示を求められる等バタバタしましたが、皆様の協力を得て子ども達の笑顔に包まれ大盛況で終える事が出来ました。



■ 公民館まつり

厚木市青少年指導員連絡協議会 会長 川田 房江

市内15地区で活動している青少年指導員は、各々の選出地区で開催される公民館まつりにおいて、地域の方々とのふれあいを創出する機会として従事しています。コロナ禍の制約がある中、充実した活動を夢見て。



令和4年度 青少年の健全育成を進める県民大会

令和5年1月21日(土)麻生市民館(川崎市)において、「青少年のために、今できること~ポストコロナ時代の地域支援~」をテーマに、3年ぶりとなる「青少年の健全育成を進める県民大会」が開催されました。

◆ 基調講演

東京学芸大学准教授の柴田彩千子氏を講師に迎えて、「ポストコロナ時代の地域支援」をテーマに講演をいただきました。

子どもを支援する大人には、保護者・教師のような縦の関係だけでなく、子どもを評価せず利害関係のない「ナナメの関係」の大人の存在も重要であることなど、地域の支援者に求められる姿などについてお話がありました。



◆ パネルディスカッション

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏、子どもの未来サポートオフィス代表の米田佐知子氏、そして神奈川県立新城高等学校の生徒2人をパネリストに迎え、「これからの子どもの居場所づくりと地域の関わり」をテーマに事例発表や、会場も交えての活発な意見交換が行われました。

